

学校だより 11月号



赤見っ子

赤見台第一小学校 令和4年10月31日(月)
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688

<https://aka1-e-konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

学校教育目標

- (あ) 明るい心で 助け合う子
- (か) 体も心も たくましい子
- (み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにこにこ赤見っ子～

“挑戦”の陸上競技大会

校長 大澤 紀子

木々が色づき始め、秋の深まりが感じられる季節となりました。運動会の後、社会科見学や生活科校外学習などが実施され、子供たちの楽しく活動する姿をたくさん見ることができています。

さて、6年生は、10月19日に鴻巣市小学校陸上競技大会に参加し、自分の種目の競技に出場し、自己ベストを目指して挑戦しました。今年は、新型コロナウイルス感染症への対策のため、縮小した形にはなりましたが、市内の全小学校の6年生が集合して大会を開催できたことが、何よりうれしかったです。

この「小学校陸上競技大会」は、鴻巣市陸上競技場に市内の全小学校6年生約900名が集まり、競い合います。種目は、「100m走」「1000m走」「走り幅跳び」「走り高跳び」「ハードル走」「ソフトボール投げ」です。子供たちは、その中から自分が挑戦したい種目を1つ選んで、大会まで練習を続けてきました。練習は、運動会後の約1か月間、放課後の時間を使い、全教職員で指導にあたりながら行ってきました。

結果は、3名の児童の入賞と、多くの児童が自己ベストの記録を出すことができ、大きな達成感を味わうことができました。また、互いを応援し合い、友達の頑張りを自分のことのように喜ぶ姿もありました。常に「赤一小の代表」を意識し、立派な態度で参加することができました。

この行事を通して6年生の子供たちは、何を学んでくれたでしょうか。

大会の前には、多くの先生が、6年生への励ましや期待、「苦しいことがあっても最後まであきらめず挑戦していくこと」を話してきました。「赤一小の代表としての自覚」を大切に競技に参加することも伝えてきました。また、大会前には、4年生の応援団を中心とした「陸上選手壮行会」を行い、赤一小の全校児童が6年生を応援し、6年生への励ましと憧れの気持ちを表しました。

6年生の子供たちにとって、1か月間の放課後練習は、辛く感じたり悩んだりした時もあったと思います。一人一人感じたことは違うかもしれませんが、目標をもって努力することの大切さ、仲間と助け合ったり競い合ったりしながら互いを高め合うこと、一つのことをやり遂げた達成感や充実感を味わえたのではないかと思います。この経験は、子供たちが大きく成長する一つになったと実感しています。

一つ一つを経験しながら成長していく子供たちの姿に私たち教職員も喜びを感じています。6年生の立派な姿が下級生へ引き継がれていくことを期待しています。

保護者の皆様には、放課後練習へのご支援、子供たちの体調管理など、これまでのご協力に感謝申し上げます。

【入賞者の紹介】

			記録
・女子走り幅跳び	2位	金丸 莉々花さん	3 6 1 cm
・女子走り高跳びA	5位	大嶋 朋音さん	1 1 5 cm
・女子走り高跳びB	2位	三根 心さん	1 1 7 cm

